

2年 国語 シラバス

1 国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通りに育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 教科における重点目標等

登場人物の心情や段落の役割を考える際などに行う話し合い活動を通して、根拠をもとに伝え合う力を育成するとともに、他人の意見に耳を傾けて自分の意見を修正し、主張できる力を育成する。

3 学力を向上させる方法

(1) 聞く・話す力

話は集中して聴く。要点を押さえてメモをとる。話すときは、単語でなく文章で伝える。話すときは結論を述べ、その根拠や理由を付け加える。

(2) 読む力

日ごろから読書に親しむようにする。音読をつづける。文学的文章では、情景・心情描写に気をつけ、説明的文章では、論理の展開に気をつけて自分の考えをもつようにする。

(3) 書く力

日ごろから語彙を増やすよう心がける。「誰に対して何を伝えるために書くのか」を意識してまとめるようにする。自分の考えや気持ちについて根拠を明確に書くようにする。

4 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	テスト、作文やワークシート等の内容
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わり合いの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	テスト・授業中の発言や話す・聞く態度、四人班やクラス全体での話し合いの様子、作文やワークシート等の内容
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	授業態度・挙手発言・ノートやワークシート、ワーク等の記入提出

5 家庭学習の仕方

- (1) 教科書を音読し、読めない漢字やわからない言葉を調べておく。
- (2) 授業でのノートやワークシートを読み返し、学んだことの復習をする。
- (3) 単元が終わったら確認でワークに取り組み、苦手な部分の直しをする。
- (4) 漢字は、学習したものをどんどん使う。覚えにくいものは、反復してマスターする。
- (5) 新聞の社説などをノートに写し、自分の考えを書く。

6 年間学習予定

学期	単元名	学習のポイント
1 学 期	見えないだけ アイスプラネット 枕草子 多様な方法で情報を集めよう 熟語の構成 問いを立てながら聞く 硬筆 クマゼミ増加の原因を探る 魅力的な提案をしよう 単語をどう分ける（自立語） メディアを比べよう 短歌に親しむ／短歌を味わう 言葉の力 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の使い方や表現の特徴に注目する。 ・人物の言動や心情を表す表現の変化に注目する。 ・作者の四季の捉え方や感じ方を捉える。 ・効果的に伝えるため情報の集め方を工夫する。 ・熟語の作られ方を理解する。 ・話の要点や順序を整理して聞き取る。 ・ペンを使って楷書で丁寧に書く。 ・話や文章の構成に注目し、内容を読みとる。 ・聞き手を意識した話し方、資料提示の仕方。 ・自立語それぞれの役割を理解する。 ・効果や伝わり方を意識する。 ・情景などを表す多様な語句に着目し語感を磨く。 ・知識や体験と関連付けて言葉について考える。 ・類義語と対義語、同音異義語や多義語を理解する。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増やす。
2 学 期	盆土産 字のない葉書 敬語 同じ訓・同じ音をもつ漢字 モアイは語る 根拠の適切さを考えて書こう 扇の的「平家物語」から 仁和寺にある法師 漢詩の風景 立場を尊重して話し合おう 毛筆 君は「最後の晚餐」を知っているか 走る。走らない。走ろうよ。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の温かさや思いやりについて考える。 ・表現から、明示されていない心情を読み取る。 ・相手や場に応じた使い分けを考える。 ・漢字の意味を意識して使い分ける。 ・根拠の効果的な示し方を読み取る。 ・適切な根拠を使い自分の意見を効果的に伝える。 ・繰り返し音読し、登場人物の心情を読み取る。 ・繰り返し音読し、筆者の考えを読み取る。 ・音読を通して、情景や心情を読み取る。 ・立場を明確にし、適切な根拠と共に意見を述べる。 ・点画の省略や筆順の変化を意識する。 ・絵画と文を対応させながら読みとる。 ・用言の活用について理解する。
3 学 期	走れメロス 一字違いで大違い（付属語） 構成や展開を工夫して書こう 送り仮名 言葉の力	<ul style="list-style-type: none"> ・巧みな表現や語句の使い方注目する。 ・付属語の特徴や種類を理解する。 ・場面の展開が明確になるように構成を工夫する。 ・送り仮名の付け方の原則を理解する。